

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟 役員選任「立候補意思表明書」

2017年 4月 13日 氏名塩坂邦雄

【JHF 活動履歴】平成20年11月8～9日スカイレジャー・ジャパン&エアポートフェスタ in 静岡。
平成21年～平成25年JHF 教員スクール事業委員。
平成23年～平成25年JHF ハング・パラ振興委員。
平成26年 JHF 教員検定会 講師FIG. (フライト・イマジネーション・ゲーム)
平成25年～平成29年 JHF 理事。

【JHF 定款への理解】 (どれかひとつをマルで囲んでください) 熟知している ・ <u>ある程度理解している</u> ・ 一通り目を通した ・ これから目を通す
--

【立候補意思表明】公益社団法人 JHF の活動に関するご自身の考え。 その際に下記3点を含めて下さい。 (1)今の JHF の活動で課題と考えている事 (2) 今後の JHF が活動していくべきと考える事 (3)ご自分が理事として実践していきたい事
(1)今のJHFの活動で課題と考えている事。 ①理事会が提案された議題を審査するのみの機構になっている。 ②各委員会と理事会のコミュニケーション不足、特に担当理事との連絡不足。 ③正会員の意思表示が総会に限られ、積極的意見の吸収ができない。 ④理事長選任にあたり、立候補者が基調方針を示し、理事全員が共有認識に立つことが必要。
(2)今後のJHFが活動していくべきと考える事。 ①パラ・ハングが安全なスポーツである事をアピールするため、年一回程度 県連持ちまわりで、スカイフェスティバルを開催する。 ②地域振興の起爆剤として、パラハングを活用して地域振興のモデルを作成する。 ③特にハングの保険に関しては粘り強く関係機関と交渉を続ける。
(3)自分が理事として実践していきたい事。 (1)に示した課題を、理事会で積極的に発言し特に理事会の協議によりJHFの長期的ビジョンを作成し、フライヤーの皆様の意見を反映させたい。
理事を二期(4年)拝命して、ようやくJHFの問題点が明確になってきました、次期理事には若い人に積極的に参加してもらうために、民主的な組織に改変することを決意し立候補を表明します、皆様のお力をお貸しください。